

## 「放任竹林」に関するアンケート調査

### 1 調査目的

市内全域で、放任竹林による被害が問題となっています。市民の皆さんの「放任竹林」への認識度や、竹の有効な利用方法などについてご意見を伺い、現在策定を検討している「静岡市放任竹林対策基本方針」に向けた参考とするため、市民アンケートモニターを実施しました。

### 2 調査対象

市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の150人

### 3 回収件数

145件（回収率96.7%）

### 4 調査方法

インターネットによるアンケート調査

### 5 調査期間

令和4年6月20日（月）～令和4年6月27日（月）

### 6 担当課

環境創造課

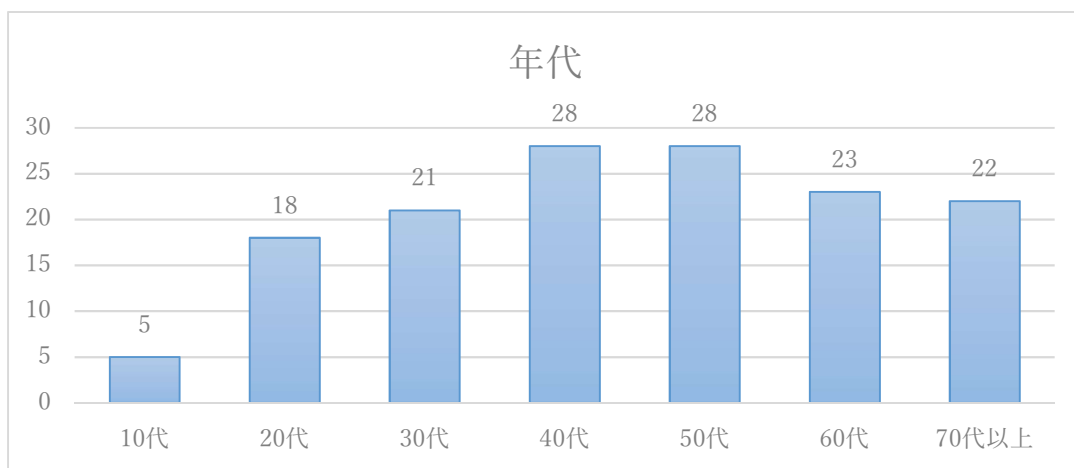
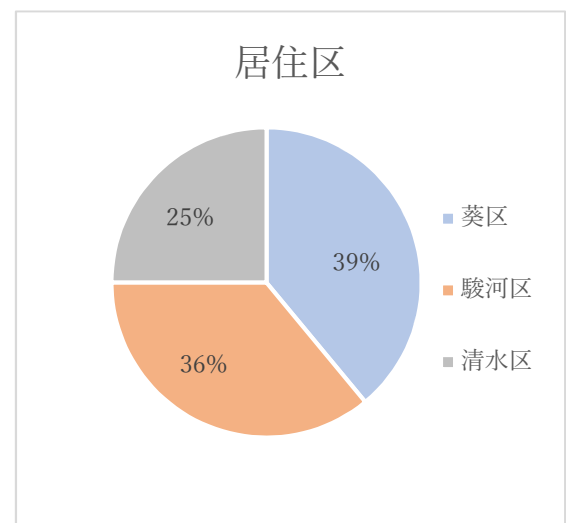
### 7 回答者の属性

(1) 居住区

葵区	56人
駿河区	53人
清水区	36人

(2) 年代

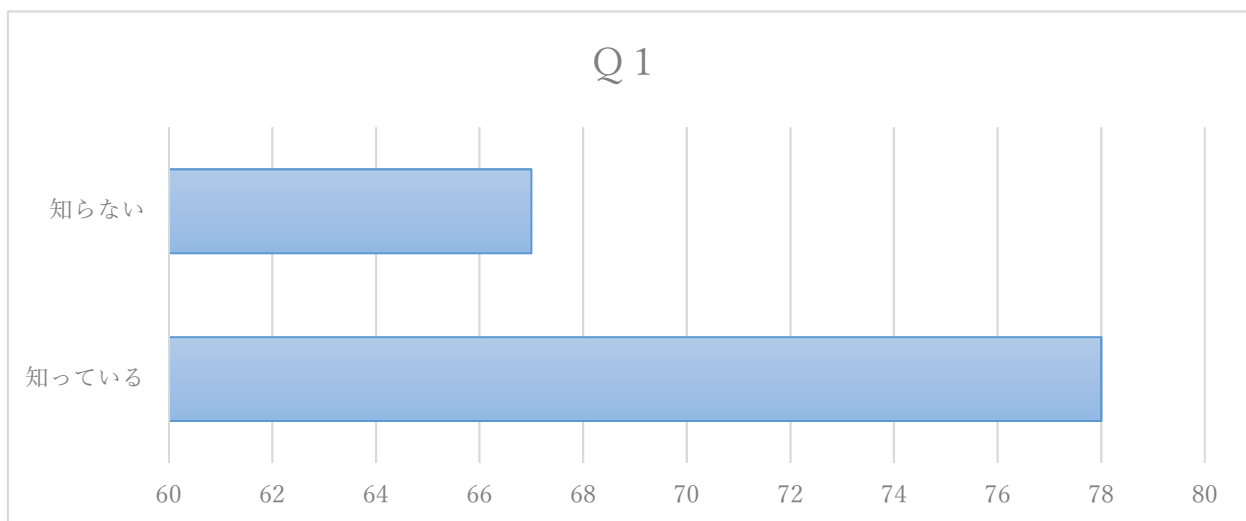
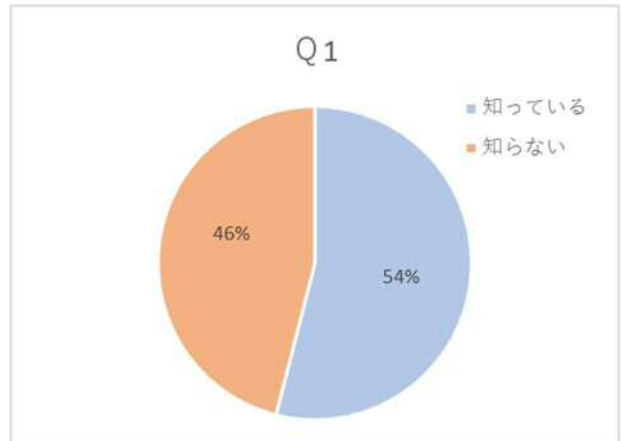
10代	5人
20代	18人
30代	21人
40代	28人
50代	28人
60代	23人
70代以上	22人
計	145人



## 8 調査結果・概要

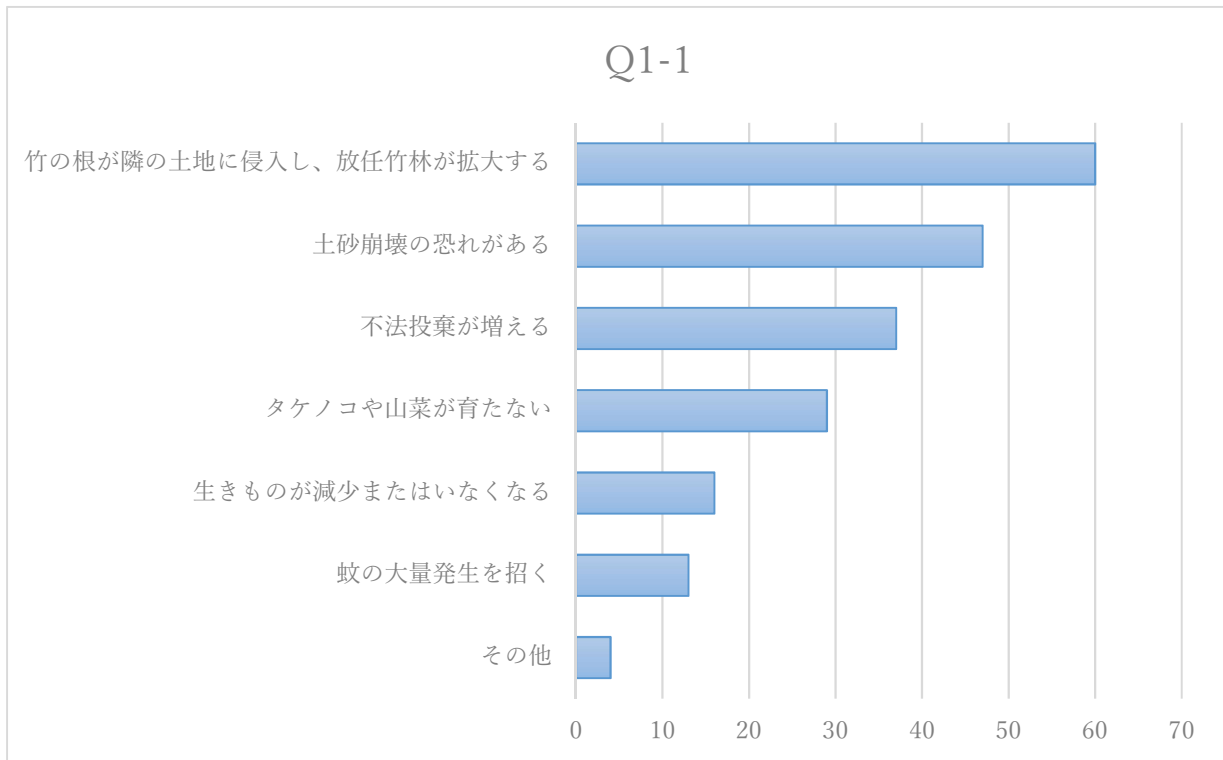
Q1 放任竹林が環境等に悪影響を及ぼすことを知っていましたか。

問1-1	
知っている	78人
知らない	67人



Q1-1 「Q1」で「知っている」と回答した方にお聞きします。  
どのような悪影響をしていますか。(複数回答可)

Q1-1	
竹の根が隣の土地に侵入し、放任竹林が拡大する	60人
土砂崩壊の恐れがある	47人
不法投棄が増える	37人
タケノコや山菜が育たない	29人
生きものが減少またはいなくなる	16人
蚊の大量発生を招く	13人
その他	4人



<その他意見>

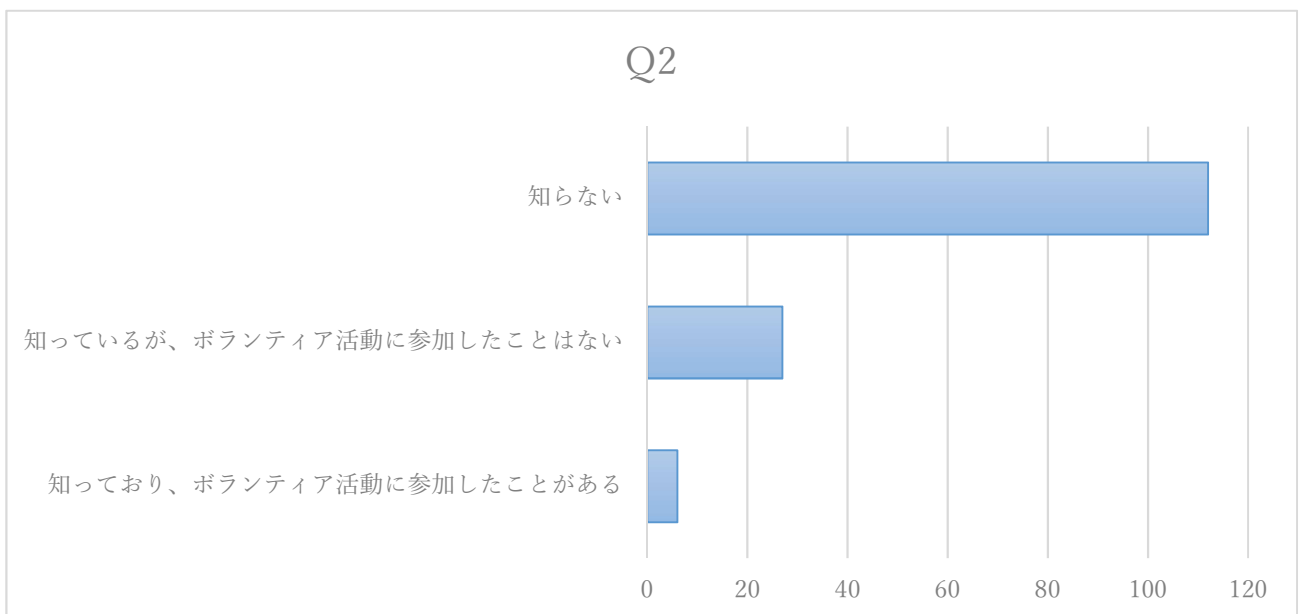
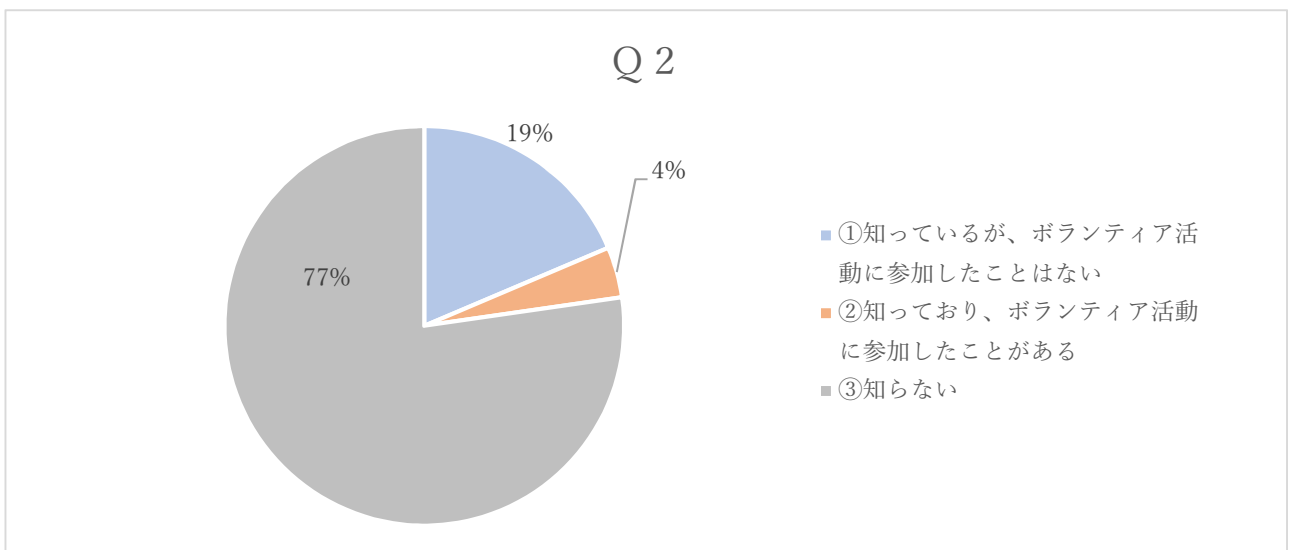
- ・イノシシの住みかになる。海に山の栄養分が行かない。(70代以上)
- ・竹の浸食により他の樹木が育たなくなる。(70代以上)
- ・他の植物を駆逐する。影響を及ぼす。イノシシや野生動物の住みかとなり畑などを荒らす。(70代)
- ・竹の葉が茂りすぎると、地上に日光が当たらなくなるため、他の植物が育たない。環境が変わってしまう。(50代)

放任竹林が環境に悪影響を及ぼすことを知っている割合は全体の54%と半数以上あるものの、知らない割合と均衡していた。前回調査時(平成23年)は環境への影響を知っている割合は86%であったため、前回調査時より環境への影響を知っている割合は減少していた。

どのような悪影響を知っているかとの問いについては「竹の根が隣の土地に侵入し、放任竹林が拡大する」と答えた人が一番多く60人、次いで「土砂崩壊の恐れがある」が47人、「不法投棄が増える」が37人であった。

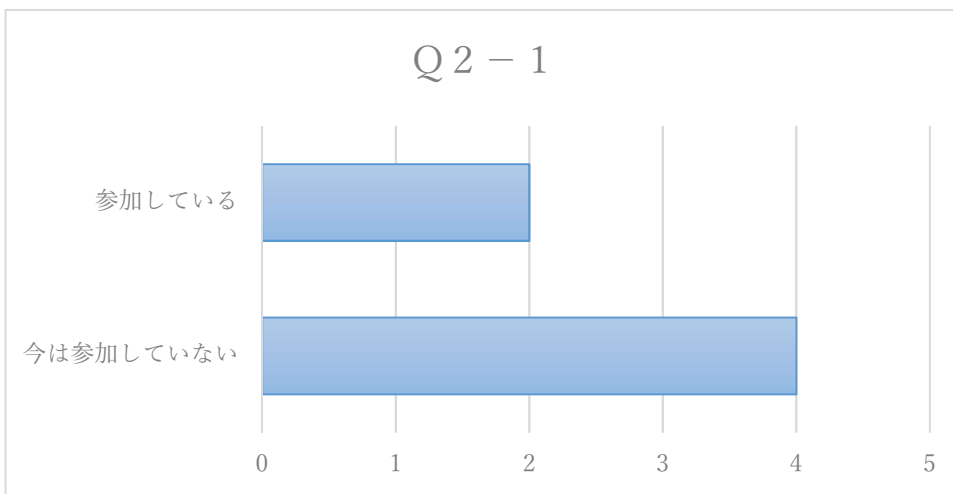
Q2 静岡市内には放任竹林対策をしているボランティア団体が各地に存在しています。活動内容として、竹林の伐採、草刈り、植樹、タケノコ掘り体験等のイベント開催を行っています。このような活動をしているボランティア団体を知っていましたが？

Q2	
① 知っているが、ボランティア活動に参加したことはない	27人
② 知っており、ボランティア活動に参加したことがある	6人
③ 知らない	112人

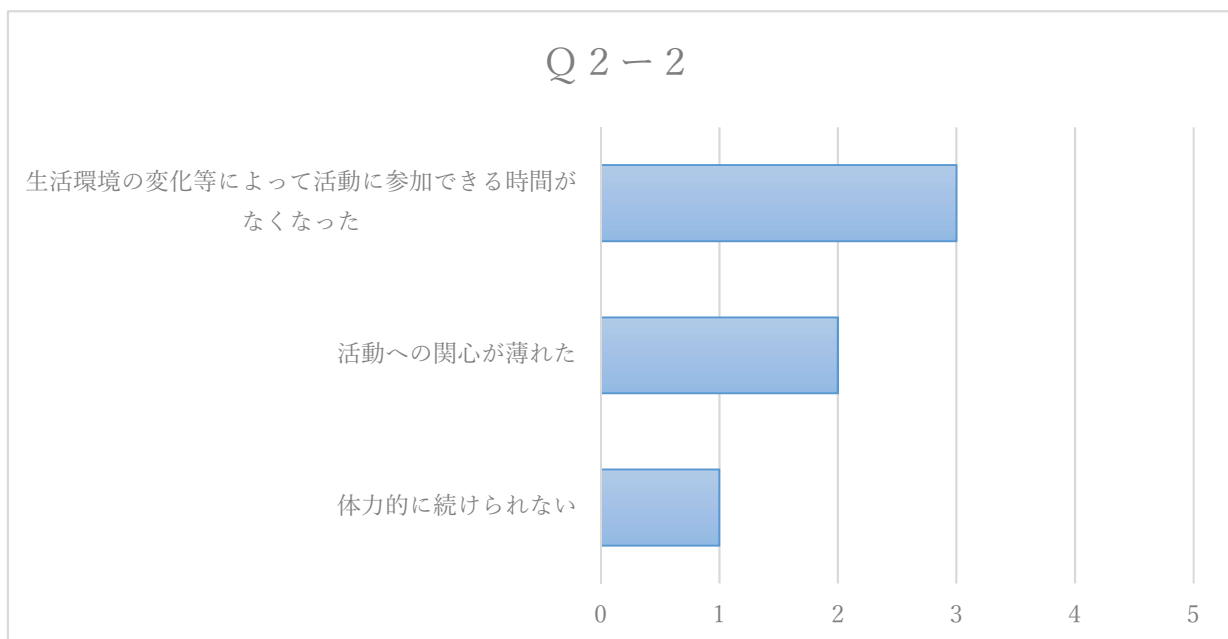


Q2-1 Q2で「知っており、ボランティア活動に参加したことがある」と回答した方にお聞きします。  
現在もボランティア活動に参加していますか。

Q2-1	
① 今は参加していない	4人
② 参加している	2人

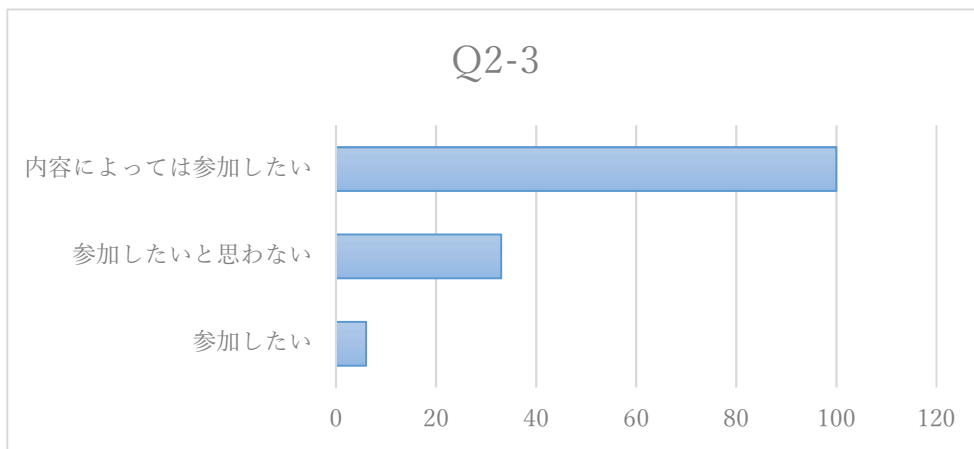


Q2-2 Q2-1で「今は参加していない」と回答した方にお聞きします。参加していない理由を教えてください。(複数回答可)



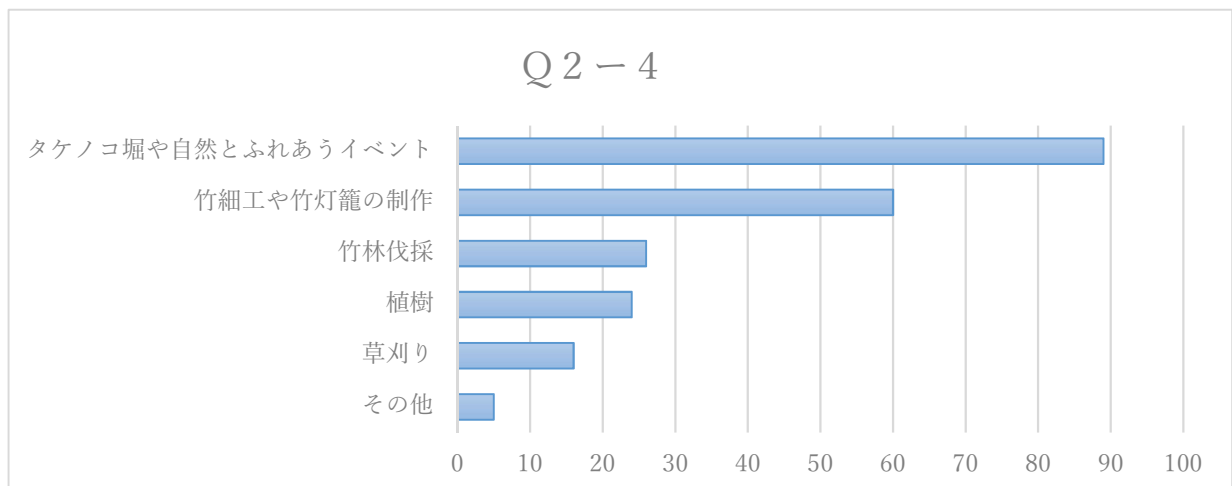
Q2-3 Q2で「知っているが、ボランティア活動に参加したことはない」または「知らない」と回答した方にお聞きします。今後放任竹林対策のボランティア活動に参加してみたいと思いますか。

Q2-3	
① 参加したい	6人
② 参加したいと思わない	33人
③ 内容によっては参加したい	100人



Q2-4 Q2-3で「参加したい」または「内容によっては参加したい」と回答した方にお聞きします。どのようなボランティア活動に参加したいですか。(複数回答可)

Q2-4	
タケノコ掘りや自然とふれあうイベント	95人
竹細工や竹灯籠の制作	66人
竹林伐採	27人
植樹	27人
草刈り	18人
その他	4人

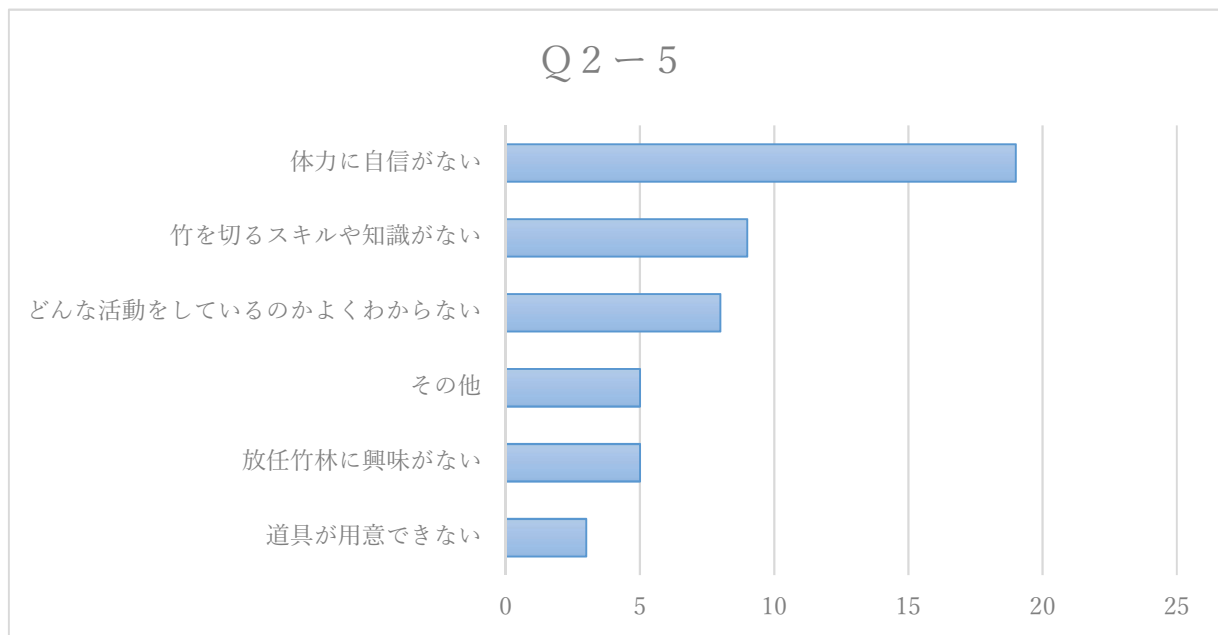


<その他意見>

- 山の中が苦手なので、竹を使った製品づくりなら参加してみたいです。(40代)
- 流しそうめんと器、お箸制作(50代)
- 親子講座。静岡は山が多く、自然を身近に感じられる県です。こどもは小学校でオクシズユネスコパークについて学習していて、静岡の自然を頭では学んでいます。教室での学びと体験を組み合わせた学習ができればと思います。夏休み講座で『竹林管理から学べる静岡の山』、竹細工や竹林被害、色々な分野のことが盛りだめで総合学習にいいと思います！(40代)
- 体力的に、きつい動きができないので、体の具合を考えて参加を検討する(70代以上)
- 子供が自然と触れ合えるイベント(30代)

Q2-5 Q2-3で「参加したいと思わない」と回答した方にお聞きします。参加したいと思わない理由を教えてください。

Q2-5	
体力に自信がない	19人
竹を切るスキルや知識がない	11人
どんな活動をしているのかよくわからない	8人
放任竹林に興味がない	6人
その他	5人
道具が用意できない	4人



<その他意見>

- 身体的障がいがあり、自分の事も出来ないため(50代)
- 無償だから(20代)
- 時間がない(40代)
- 家族の介護で時間がない。(50代)
- 色々忙しいので時間がとれない(40代)

市内にボランティア団体が存在していることを知っている割合は23%とボランティア団体の存在を知らない割合が大半を占めたが、前回調査時（平成23年）の11%からは増加していた。実際にボランティア活動に参加した割合は全体の4%であった。

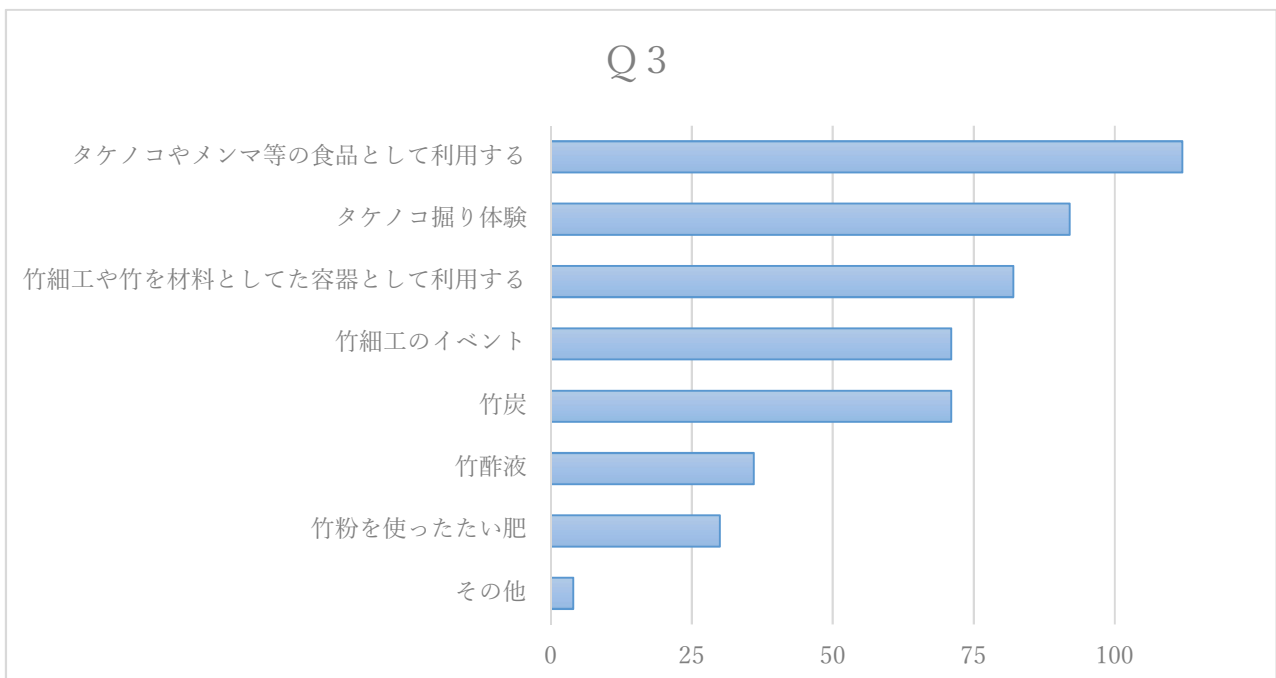
ボランティア活動に参加したことがない、活動を知らないと回答した人の7割が活動次第で参加したいとの回答であった。

参加したい活動の内容は「タケノコ堀や自然とふれあうイベント」が95人と一番多く、次いで「竹細工や竹灯籠の制作」が66人であった。その他の回答と2倍以上の差があった。

参加できない理由としては「体力に自信がない」との回答が半数以上であった。

Q3 現在、放任竹林の活用方法がいくつかあります。どのようなものだったら利用してみたいとおもいますか。（複数回答可）

Q3	
タケノコやメンマ等の食品として利用する	112人
タケノコ掘り体験	92人
竹細工や竹を材料とした容器として利用する	82人
竹細工のイベント	71人
竹炭	71人
竹酢液	36人
竹粉を使ったたい肥	30人
その他	4人



<その他意見>

- ・竹並びに竹バネを利用した動力模型（60代）
- ・バイオマス発電の燃料（60代）
- ・鉄の中華鍋やフライパンの掃除道具「ささら」（50代）
- ・具体的なものは分かりませんが、採算がとれるのが前提になるかと思います（50代）

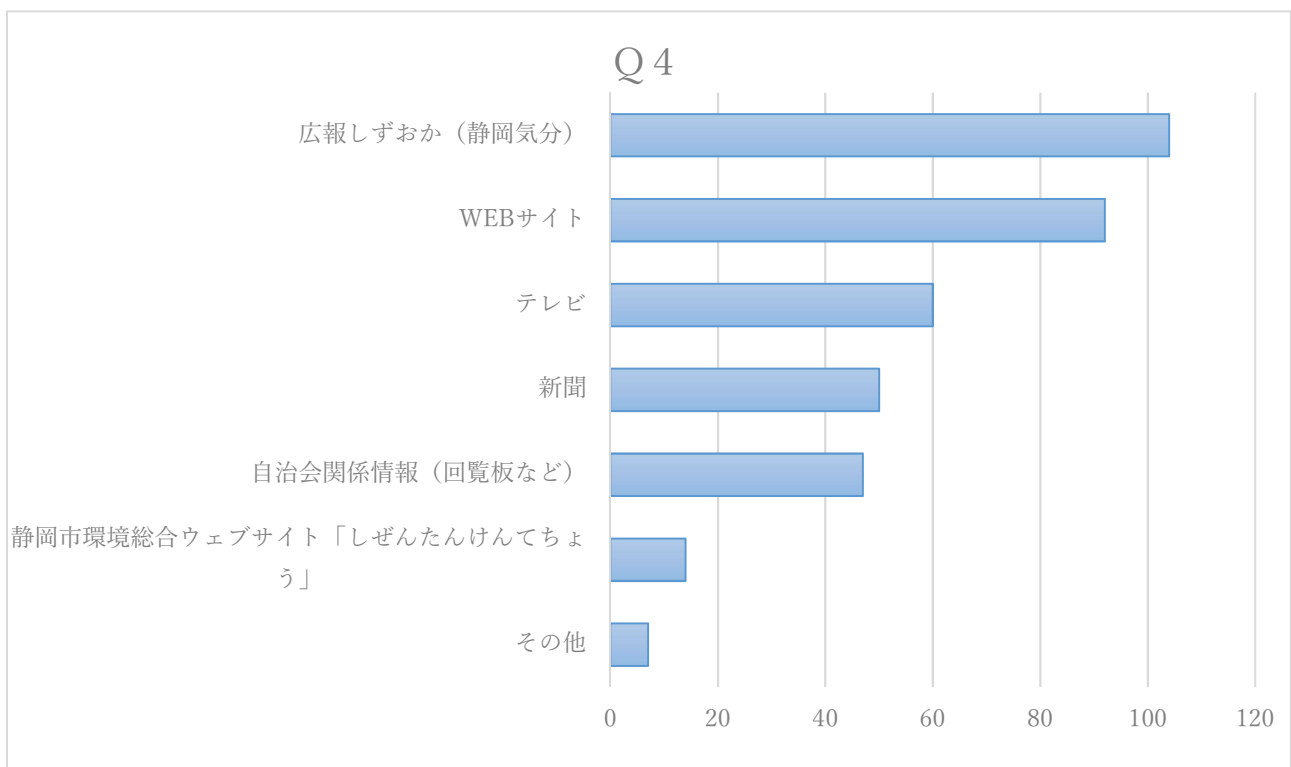


放任竹林の活用方法で利用したいものとして、112人と全体の7割の人が「タケノコやメンマ等の食品として活用する」と回答した。また、問2-4の参加してみたいイベントで「タケノコ掘りや自然とふれあうイベント」が多くの回答を得たが、問3の活用方法についてもタケノコ掘体験や竹細工のイベントは多くの回答を得た。

食品や活動以外の活用法については竹細工や竹容器、竹炭といった認知度があるものについての回答は多かったものの、竹酢液、たい肥など認知度が広がっていない活用法については回答が3割未満となった。

Q4 放任竹林を含む里山保全の情報を取得するために利用したい媒体はなんですか。(複数回答可)

Q4	
広報しずおか(静岡気分)	104人
WEBサイト	92人
テレビ	60人
新聞	50人
自治会関係情報(回覧板など)	47人
静岡市環境総合ウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」	14人
その他	7人



<その他意見>

- SNS (20代)
- Instagram、Twitter等のSNS (10代)
- チラシ、LINE (10代)
- 一枚のパンフレット (40代)
- 静岡市公式LINE (60代)

- ・情報収集の手段として広報しずおかを利用したいと回答した人が104人ともっとも多く、次いで「WEBサイト」が92人、「テレビ」が60人、「新聞」が50人となっている。
- ・その他意見ではLINE、Instagram、Twitter等のSNSと回答した人が多かった。

## Q5 放任竹林に対する意見等がありましたらご自由にお書きください。

### 【普及啓発活動に関するアイデア、ご意見】

- ・放任竹林の対策をすることで、住みよい環境を手に入れ、さらにタケノコ掘りという貴重な体験もできるので、広く市民に知ってもらい、興味を持ってもらうことが大切だと思います。(50代)
- ・身近に放任竹林が無いと、関心もあまり感じません。もっと広く知ってもらう広報が必要だと思います。(60代)
- ・静岡県は、昨年の熱海土砂災害の経験もあるため、地元情報番組などでたくさん取り上げたりして、市民が意識を高く持てるようにしてほしい(40代)
- ・放任竹林について全く知らなかった。知らない人は結構いるのではないかと思うので、イベントや対策を行うなら、広報しずおかや学校関係に配るチラシなどで周知をしたら良いと思います。(40代)
- ・放任竹林のことは今まで知りませんでした。小学校の授業で利用するなど、子どもたちが接する機会があると良いと思います。(30代)
- ・小学校の頃、タケノコ狩りに参加したことがあるのですが、正直ただの遊びとして参加していました。なので、小学校、保育園等の子ども向けの活動であっても、何のためにこの活動をするのかを説明する必要があると考えます。それにより放任竹林対策のことを知れるきっかけができると思います。(10代)
- ・知らない人も多くいると思うので、まずは知ってもらえるような機会があると良いと思います。(20代)
- ・広報で開催を知らせて下さい(70代)
- ・難しい問題であることを世に知らしめることがまず必要だと思います。(60代)
- ・放任竹林について、ゆくゆく生活に支障がでるはずなのに、あまり大きく報道されていないと思います。20代である私も詳しくは知らなかったもので、テレビやスマホのニュース等で取り上げてより多くの人に考えてもらうべきだと思います。そして活用の仕方についてよく考え、近隣の住民にもしっかり説明をして行うようにしてほしいと思いました。(20代)
- ・今回のアンケートで放任竹林に携わるボランティアの方がいらっしゃることをしりました。それだけ、大切なことなんですね。身近な問題として感じられるよう、イベントや広報などを通して感じられたらいいなと思いました。(40代)
- ・筍掘りや、竹細工制作は子供たちがとても喜びそうなので、幼稚園や小学校のイベントでよくある芋ほり遠足やみかん狩りのように、積極的に取り入れてはどうだろうかと思いました。その活動が環境問題の入り口になるなら、それも学びのきっかけになると思います。(40代)
- ・LINEも活用してイベントのお知らせとかしてもらえたら、わかりやすくいいと思います。知らないことだったので、少し自分でも調べてみたいなと感じました。(20代)
- ・一時しのぎではなく持続可能な対策を、趣味と実益を兼ねたものとして広くアピールできると、活動の対策を、趣味と実益を兼ねたものとして広くアピールできると、活動の裾野が広がると思う。「コト消費」は子供のいる世帯と、キャンプなどを楽しむ層とで内容を変えるなどして、幅広くいろいろな世代に関心を持ってもらえる仕組みにしたい。(50代)
- ・《筍掘り体験》ボランティアの活動に加え、市役所の主催として、広報しずおか等で大々的に募集をして、竹林が拡大するのを抑える。(70代以上)
- ・殆どの住民は放任竹林に対する関心がありませんが、それは放任竹林の情報(エリアや具体的な弊害)

- が少なく、身近な問題として捉えていないからだと考えます。市として更なる広報活動と放任竹林を減らす（利用する）取り組みについて市民と話し合える場の提供を希望します。（60代）
- 内容をもっと知りたいので、みんなが見られる形で情報公開してほしいと思います。（60代）
  - そもそも放任竹林が環境等に悪影響を及ぼすこと自体を知らなかったで、それに関する活動をされている方がいらっしゃる事すらしりませんでした。認知度としてかなり低いかと思います。悪影響がある事やそれを解決しようと活動している人がいる事はもっと知られるべきことかと思うので内容を周知させる広報的な取り組みも合わせて必要なのかと感じました。（30代）
  - このことを知らない人は私もそうでしたが多いと思いますので、広く知らしめていろんなものへと活用してただ廃棄にしないで利益をも生み出し、その利益で伐採するなどうまい具合に回っていったらいいですね。（60代）
  - 家の少し離れた裏手に山があります。竹も生えていると、竹林のニュースも目にして伐採や間伐の必要性は認識しています。そういうボランティアで成り立っているのは知りませんでした。あれば子供と参加してみたいです。良い体験になると思うので。（40代）
  - 孫がいますのでたけのこ掘りや竹細工など経験させたいです。新聞などに載せて体験募集と題して募って欲しいです。（60代）
  - 放任竹林の問題はあまり知られていないと思います。まずは放任竹林がどのような影響を及ぼすかをPRしてほしいです。その上で例えば広報などで、具体的に地図で示して「ここ」などと教えてもらえると認知度が上がると思います。（50代）
  - ボランティアで何をしているのか、ということ以前にボランティアをしていること自体、知ろうとしなければ情報が入らないように感じる。実際環境に悪影響があることは知っていても、それをなくそうと活動していることは知らなかった。ボランティア活動の周知と、関わりやすい環境づくりがなされると良いと思った。（20代）
  - 放任竹林が問題となっていることを知りませんでした。どこが放任竹林なのか分かりませんし、他人の地所と考えるとタケノコや七夕用の竹があっても入ることが出来ず全く関心が持てない状態でしたが、5月に楽しいタケノコ狩りを経験できました。自治会などを通し上手く広報してもらえれば何かお手伝いできそうです。（70代以上）
  - 放任竹林について、日常生活のなかで触れることが少ないです。子どもが幼い頃は竹林のボランティア団体との関わりもありましたが、いまは活動を耳にするばかりで実際に参加することはありません。山へ登らずともできることや、認知度があがる媒体や案内などがあれば良いと考えます。放任竹林があると今後どのようなことが起きるのか周知できると市民の心にとどめることができるのではないのでしょうか。（40代）

### 【竹の活用、施策等に関するご意見】

- 早めに伐採できる体制が必要（40代）
- 市で買い上げてキャンプ場にすることはできませんか。竹細工の材料にする。（50代）
- 竹炭の生産や、使用普及拡大のための廉価での販売事業。タケノコの加工食品の生産や、消費拡大のための廉価での販売事業。竹細工製品の使用普及拡大のための廉価での販売事業や制作イベントの実施。（60代）
- 放任竹林については特に知りませんでした。以前どこかでみた竹を切って穴で模様を作り中から光を照らしているものはとてもきれいでした。インスタ映えもあるのでいくつかスポットを作れば話題になると思います。また近年キャンプブームもあるので竹を利用したご飯を炊くのも（加工してあとはお米を入れて焼くだけとか）や、流しそうめんセット、器なども需要があるように思いました。（30代）
- 放任竹林が悪影響を及ぼしているとはしりませんでした。修善寺の竹の小径みたいな観光スポットにすることはできないのでしょうか。（20代）
- コンポストトイレに竹チップを使う（排泄物にふりかける）と聞いたことがあります。災害時のトイレ

対策にもなるのでコンポストトイレが普及すると良いなあと思っています。また、竹を材料としたエコな紙皿などがあると聞きました。その紙皿なら自然に還ると聞きました。コロナ禍でキャンプが流行っていますので、キャンプ場で使う食器として、竹のお皿やカトラリーなどを生産販売してはいかかでしょうか。私も欲しいです。(30代)

- 放任竹林の土地主に対策の提案など対策を県及び市町村での取り組みが必要だと思っています。また、一般ボランティア活動が出来る放任竹林に対しての催し物の企画をお願いしたい。(60代)
- 竹林を放任すると自然災害(豪雨・台風)や枯れた竹や雨で濡れ竹が生活道路を塞ぎ交通を遮断する。竹は地下茎が繋がっていて大雨の後、地盤が緩むと一気に土砂崩壊を起こし住民や家屋に被害を誘発するので日頃より道路側に倒れ掛かりそうなものを取り除くや間伐するのが良いと思います。竹は需要に応じて販売する。この件を市条例で制定し事前に地主に通知・説明し理解を得て行う。静岡市の防災課?で伐採・間伐予算を計上し「広報しずおか」でその任に当たる人員を募集し行ってはいかかでしょうか。(70代以上)
- 友達が関連のボランティア活動に参加経験あり。作業後に切った竹を使ってバウムクーヘンを作って楽しかったとのこと。イベントとして入れてみては?(60代)
- 竹は横に根を張るので大変と聞きましたけど放置していくともっと大変になってしまうので、大規模で活動が必要だと思っています。(50代)
- 学校などの課題授業で筍掘りを実施したり、七夕の時竹を切り、七夕飾りを作ったり、流しソーメンで利用したり竹を使った事を取り入れて欲しいと思います。(70代以上)
- 静岡は竹細工が有名で、匠宿で以前体験コーナーに参加したことがありました。もっと身近で低価格で体験できたらと思います。(60代)
- 沢山の放棄竹林があることは聞いておりました。竹炭や竹箆(す)など活用があると思いますが、それは全体の数%だと思います。その場で粉碎処理して堆肥にして、美しい竹林造りが必要だと思います。(70%)
- 放任竹林が具体的にどのような悪影響を環境に及ぼすのか、市民への教育をしてもらいたい。また、市内のどこに放任竹林があるのか、マップのようなものがあると便利かと思われる。(50代)
- 近年話題の1メートル切りによる竹林の伐採を実施していれば、静岡市の実践事例をWEBで見られるようにしてほしい。実践していなければぜひやってもらいたい。(30代)
- たけのこ掘りの季節になると、竹林が気になる。たけのこありそうだな~掘りたいな~でも、誰かの所有地だろうな~良いな~と。たけのこ掘り体験とか、大規模であつたら良いな。でも、ボランティアが必要なんですね。私は、たけのこを掘りたいだけです。たけのこ掘りたい人たくさん居ると思うから、ここのたけのこ掘っていいよmapがあつたらうれしいな。(50代)
- タケノコ掘り体験など、多くの子どもたちに体験して欲しい。孫も知り合いの山で毎年掘らせてもらうのを楽しんでいる。掘ったタケノコをお裾分けも嬉しい。(70代以上)
- タケノコ掘りや竹細工などは子供も参加できると思うので親子交流の観点からも有効だと思います。(40代)
- 根を張って地震に強い土地になると聞きました。筍掘りや竹灯り作りなどイベントを通して、市民に興味をもってもらうと良いかなと思います。(50代)
- 放任竹林については詳しくは知りませんでした。言葉の雰囲気からあまり良くないことであることは想像できます。「放任竹林」問題とは関係ないかもしれませんが、山沿いの道路などに竹が密生していて、雨後などに枝が垂れて危ないところを見かけます。竹林の所有権や、伐採にも費用がかかるので、ボランティア等でうまく処理できればなと思うことはあります。シニア世代中心に地域の役にたちたいとお考えの方も多くいらっしゃるかと思いますので、何か特典をつけてあげて作業者を募るのもいいかもしれません。また、工芸品に駿河竹干筋細工があることですし、割り箸その他、この竹を有効活用できないものでしょうか。(40代)
- 我が家の子どもが小さい時には、たけのこ掘りの経験をさせたくてイベント探しをよくしたものです。

- 子供がいなくても、おひとり様でも参加できるイベント企画があると良いです。(60代)
- ・今まであまり関心をもったテーマではなく、戸惑いと申し訳なさを感じました。土地の有効活用という観点からの検討も必要ではないでしょうか？今回はボランティア活動にもふれたアンケートでしたが、参加の方法としては活動への寄付等の支援もあるのではないのでしょうか？
  - ・竹は繁殖力が強いから、庭に植えるのは良くないと聞いたことはありましたが、竹林では竹の浸食によりほかの植物へ悪影響が出るというのはこの機会に調べてみたネットで知りました。育った竹は大きくなって重量もあるので、たくさんの人の手で整備を行わなくてはならないのは本当に大変です。既に活用方法としてあげられている竹炭や竹パウダーなどを、農業や住宅設備等でより大量消費できたらよいなと思いました。前回のアンケートで上がった都市農地などとも少しずつ繋がっていったらよいなと思います。(50代)
  - ・伐採するだけでなく食用に回せないものだろうか。(70代以上)
  - ・もし竹でベンチなどが作れるのであれば、街中や公園に設置していただけたら嬉しいです。(30代)
  - ・竹をバイオマス発電の燃料にするには、腐食性ガスの生成、クリンカの蓄積等解決すべき課題はあるが、解決のための研究開発は進んでいる。沼上、西ヶ谷の清掃工場に併設されている発電設備にゴミと混焼すれば初期投資もすくなく有望と考える。(60代)
  - ・高齢化もあり、放任竹林に限らず、荒廃した畑(みかん、茶畑等)が山に行くと多く見られます。アンケートにもありましたように、不法投棄の増加など悪影響がおおくなるため、静岡市が買い取ったり、借りたりして整備し、各種イベントの開催による有効活用や、就農支援を積極的に行ってくれることを期待します。(40代)
  - ・所有者高齢化等により、管理が出来ていない状況が大きいと思います。竹林を整備するために「クラウドファンディング」のような形でテレビや新聞で参加者を募集し、実行していけば盛り上がり、よりよくなると思います。(60代)
  - ・谷津山鉄塔西側の竹林は込み入りすぎて、人が入ることができない状態です。放置すれば、するほど密集がひどくなります。いつかは何とかしなければならないときがきますので、思い切って此処は、個人では資金が無理ですから、法人に参加して頂き、重機等により伐採し、クリアの上、用途に合う樹木を植林、交通の便良し、景色も良し、公共的な施設に利用できないでしょうか？新たな名所が誕生します。(70代以上)
  - ・ざっと調べたが問題のある地域は薬剤で徹底的に根絶したほうが良いのでは？(50代)
  - ・増税(50代)
  - ・以前、竹の粉を使って肥料を作りました。(市の資源回収センターで粉を戴いた)大変面白いので、友人数人にも薦め、喜ばれました。その後、有料になり、販売も申込になりました。いつの間にか肥料作りもやめてしまいました。また以前のように、無料でいただける機会があれば、友人にも喜ばれ生ごみの削減にもなると思います。ご検討お願いします。(70代以上)
  - ・手入れをしないと筍も生えないし、竹林は地滑りの危険もあるのでメリットを感じません。市外の実家も竹林があり、手入れをしようにも伐採した竹の処分が大変でした。運ぶのも一苦労だし、処分も有料でしたし。その時調べたら、静岡市では竹をチップにする機械を無料で貸し出していましたよね？その辺りのお知らせをする事も、竹林を放置される予防になるのではないのでしょうか。(40代)
  - ・放任竹林から利益を生み地主に収入があり、協力者にもメリットのある事業を、例えばメンマなど。台湾に旅行した時、台湾がメンマの産地とは知らずに定員さんに勧められて購入したメンマが美味しかった。美しい静岡産のメンマを作って静岡茶と並ぶ名産品に、竹林の近くに竹で作った休憩所を作ってイベントに活用して竹に興味を持ってもらう、竹の構造材で作った家も面白いと思う。(70代以上)
  - ・竹は増えるばかりで大変だなと思った。活用方法がもっと身近にあればいいが、なかなか難しい。竹の割り箸とか、木がもったいないので代用できるものはどんどんしていけばいいと思った。(40代)
  - ・たけのこ掘りやってみたいです。格安でできるなら親子連れなどにも人気が出ると思います。(20代)
  - ・法整備からやるべきです(70代以上)

- ・放置竹林が身近にある事すら知りませんでした。別地域の夫の実家近くで竹林に悩む方がいる話を聞きますし、昔実家の畑に竹が生えてきた時に切る事も生えなくする事も難しく悩んだ記憶があります。有効利用できるのであれば、うまく活用していきたいです。立派なサイズが沢山あるのであれば、静岡の地酒を利用して竹の中に入っているお酒を作るのも面白いかなと思いました。(30代)
- ・放任竹林が環境に悪影響を及ぼすことやボランティア活動があることは全く知りませんでした。脱プラスチック化が進む中で、竹はお箸やスプーンフォーク、容器など、日常で使用するプラスチック製品の代用になると思うので、使い道は色々あるのではないかと思います。(30代)
- ・意見かどうかは分かりませんが、愛知県では、興味のあるユース(青少年)が、竹を伐採し、それを容器にして作ったカレーを食べるという取り組みをしていました。放任竹林だけではなくて、全く違うものも組み合わせたら面白いのではないかと思います。また、若い世代に伝えていく必要性があると思います。ユースやシニア世代が竹を伐採して、幼稚園や小学校ぐらいの子供たちがそれを見学し、一緒にカレーを作り、大きさやそこに住む生き物に触れてもらえたら良いと思います。(20代)

### 【その他放任竹林全般についてのご意見】

- ・竹林の所有者が高齢になり、過去のように手入れが出来ないのが要因の一つと考えます。(60代)
- ・自分の職場の裏が竹林になっています。急な山の斜面にたくさん竹が生えているので、道路側に倒れてきているものもあります。しかし、山崩れもおきやすい地面らしく竹で守られていると勝手に想像していたのであまり関心はなかったです。時々、伐採していたりするのは、ボランティアなのか山の所有者なのか。このアンケートで初めてボランティアで伐採などされていることを知りました。もっと認知度が上がれば、子供たちや地域住民の地域イベントとして盛り上がるだろうし、環境の勉強になりうるのかもしれないです。とにかく認知度を上げるのが先決ではないか。(50代)
- ・虫がいっぱいでる原因になりそうで、家の近くにはあってほしくない。(20代)
- ・竹林を保有しているので将来管理している家族がなくなったら、不安です。(50代)
- ・放任竹林がいけない理由を今まで知らなかった。(60代)
- ・放任竹林が問題になっているということを知らなかった。竹は資源としてとても優秀だと思うので、放置は勿体ない。有効に活用できたらよい。(50代)
- ・竹林に限らず、何でもそうですが、最後まで責任を取るのが筋だと思います。放任が得をする事は、あっては駄目だと思います。(50代)
- ・土砂崩れ等、管理されないゆえに発生する災害が心配(20代)
- ・あまり知られていない活動かと思いますが、一生懸命されている方もいるので頑張っていたきたいと思います。(20代)
- ・静岡市は竹が多いと聞いていましたが本当に多いです。しかし竹は手入れ次第で様々な使い方があります。竹を利用した料理などもあるので様々な特産品が生まれればと思いますが、地主の問題もあるので難しいですね。地主の竹管理もしっかりしていただきたいです。(40代)
- ・放任竹林に対して、このような活動をしているのは知らなかった。そもそも放任竹林って、所有者がいるんですか？所有者が手におえなくて放任になっているのですか？そこに行政が介入してなんとかしようとしている活動なんですか。(50代)
- ・山に行くこと自体に抵抗があり、よほどの事が無い限り、上記活動に参加したいとは思えません。(30代)
- ・山の持ち主の許可があれば、ボランティアや一般の人が、勝手に竹の子掘りができるようになればと思っています。竹林が増えすぎて大丈夫だろうか？？そう思える山が近隣にも沢山あり、その伐採とかだれがやるのか心配になります。是非、大きな自然災害になる前に、何か対策をお願いしつつ、自分も参加できればと思っています。(50代)
- ・恥ずかしいのですが、知識としてはほとんどありませんでした。管理され、美しく整然として、心まで清々しくなるのが竹林でした。人の手が助けなければ、自然のままでは正しい育成は出来ないのですね。

知らないのは、私だけでしょうか。これからは注意深く知っていきたいと思います。(70代)

- 放任竹林は、放置の空き家と同じで環境破壊、環境悪化を招いているが、所有者が管理責任を放棄、あるいは忌避している。管理責任をきちんと果たせるような働きかけが出来る法整備が必要。土砂崩れや鉄砲水などの災害が発生した場合、市民の立場からすれば行政の管理監督責任を追及したくなるのは当然の心理。私的権利、所有権を尊重することは大事だが、権利に必ず不随する義務と責任が法的にアンバランスだと常日頃から感じている。これは議会の仕事だと思うが、それを働きかけるのは行政の責任でもある。(70代)
- 伐採等に協力したいが高齢者なので、60代以下の方にボランティア活動して頂くとありがたいです。(70代以上)
- どの竹林が放任竹林なのか区別がつかない。どのように放任竹林と認定しているのだろうか。(60代)
- 必要に応じて放任竹林に係る行政代執行の検討も必要じゃないでしょうか。(40代)
- 放任竹林についてはそれほどの知識はなく、今回アンケートにて、現状を調べてみたくなりました。竹の割り箸や竹炭など身近で利用されているので、竹林がそこまで厄介なものとの認識はありませんでした。(60代)
- 出来る限り伐採等の処置を行い適切な整備を期待したい。(40代)
- 放任竹林という言葉は初めて耳にしました。(40代)
- 放任竹林の場所がはっきりとわかっていない。(70代以上)
- 今まで放任竹林について考える機会がなかった為、これを機に興味を持っていきたいです。(50代)
- 高齢化が原因との意見も有りますが、土地の所有者、あるいは管理者にもう少し意識の高まりを期待します。(70代以上)
- 今後はイベントなどで竹細工を作るなど積極的に参加したいと思います。(40代)
- 子供が小学生の時は興津川のアユ釣り、植林森作りなど市主催の行事に積極的に参加していましたが今もそういった行事はあるのでしょうか？清水区の興津川や和田島など静岡市には豊かな自然があるのに静岡市葵区の小学生は焼津に自然体験に行っていると聞きました。放任竹林から森林にするためにはかなりの期間と労力を費やします。雑木林など伐採するとまず竹林になります。そこから植樹をして森林を管理してやっと木材が取れます。この事を子供たちと清水区の森作りで学びましたが今となってはむかしばなしです。有度山系にも立派な竹林が有りましたが先日県立美術館付近を散策したところアンケートの放任竹林になっているのではというところが散見されました。  
祖父が健在であった頃は母の実家で良くタケノコをもらいましたが家を継いだ叔母も高齢となり竹林の管理もできていないと思います。原油が値上がり、物価が上がると日本の食料自給率が取り沙汰されますがそろそろ行政が本腰を入れて地産地消を考えるべきではないでしょうか。(60代)
- 放任竹林が環境にどのように悪影響を及ぼすのかを知らないので今後勉強したいと思います。竹は地中に幅広く根を張るから地震に強く、緊急避難場所になるのかなと思っていました。(70代以上)
- 隣の竹林から伸びた竹が自分の土地に生えたときは、どちらが伐採などの責任を負うのでしょうか。疑問な点が多いです。(40代)
- 無責任な意見だとは思いますが、なかなか放任竹林について対処したいと思うには至らない。なんとかしなくてはいけないんだろうが…。以前新聞でメンマを作った記事を読み、品物も店頭で見つけたが、添加物としてアミノ酸等が使われていたことに正直がっかりした。せっかくなので無添加で作って欲しい。(40代)
- 放任竹林について、静岡市では、全国に比べ、その割合が多いのか気になりました。(40代)
- 敷地内に竹林があるご近所さんが放置すると竹林が自宅に迫ってくると伐採した竹で子供達の遊べるものを作ってくれたりタケノコを頂いたりしていました。少子化やコロナの影響で子供会の活動が減る中で廃竹等を利用する機会が減り次の代の家族に竹林のメンテナンスが負担になるのを心配していました。毎年旬のタケノコが食べられてと喜んでいましたがそんな単純な話ではないことを身近に感じました。(40代)

- 竹林を整備して京都嵐山の様な散策路とそれに続くお店や食事処などがあればいいなと思います。竹を建材としてモダンで且つ和の空間が広がって寛げる場所の設置も。竹林だけでなく、四季を通じて訪れることが出来るよう草花も植える。以前、竹林にカーンと音が響き渡りました。思わず見上げてしまいました。澄み切った空に音がすいこまれていきました。青々として真っすぐ空に向かって伸びた竹。風になびいて右や左へしなやかに揺れている竹がこんなに害を及ぼすとは思いませんでした。農家の人に聞くと「竹は手が掛かって厄介だ。抜いてもすぐ生えるしすぐ伸びる、だから放りっぱなしだ。」と言っていました。(70代以上)
- 竹馬や水鉄砲、流しそうめんなど竹を使って子どもの頃遊んだ記憶があります。でも自分の子どもに購入するのはプラスチック製品ばかりということに気が付き、現在は自然から遠ざかった生活を送っていると考えると少し物悲しくなりました。竹藪化してしまった竹林もよく見かけるものの、もう見慣れた風景になってしまっています。子どもと一緒にボランティア等にも参加して、市民としてできる取り組みを考えていきたいと思います。(30代)
- 茂りすぎた竹林は、不審者などが隠れやすいため、できればない方が、親としては安心できます。少しでも、竹を切って、風通しをよくしていただければ、その地域の環境も変わるように思います。(50代)
- 放任竹林についてあまり知らなかったので、今回興味を持ち参加してみたいと思いました。(10代)
- 自宅近くの里山にも、放任竹林に見えるような箇所がありますが、何らかの対策がなされているかは不明です。放任竹林対策のボランティア活動には関心があるので、自分が行ける範囲で活動している団体があれば参加してみたいと思います。「しぜんたんけんてちょう」は初めて聞きました。少し見ただけですが、分かりやすい情報がたくさん載っていると感じました。改めて確認しておきます。(50代)

#### ◇所感◇

放任竹林が環境に及ぼす影響を知っている人は全体の半数程であり、更に放任竹林対策をしているボランティア団体を知っている割合は全体の4%とほとんどの市民がボランティア団体の存在を知らないという結果だった。意見の中には「ほとんどの市民は情報が少なく身近な問題として捉えられず、関心がない」という意見もあり、「放任竹林」の認知度を高めるために各事業による周知だけでなく、各情報媒体を通じての継続的かつ積極的な発信が必要だと感じた。

ボランティア団体の活動についてはイベントや制作などの活動については参加したい人が多い一方で、竹林整備に必要な竹林伐採、植樹、草刈り等の活動については参加したい人が少なく、レクリエーションと整備を関連づける活動作りが課題と認識した。

今回の市政アンケートモニターの調査結果では市民の皆さんの「放任竹林」に対する認知度や参加したい活動、利用したい利活用を把握することができ、更に自由記述ではアイデアやご指摘等、様々なご意見をいただくことが出来た。この結果を「静岡市放任竹林対策基本方針」の参考とし、関連事業をより一層推進していく。